

フィールド 便り

画：林野庁広報室
平田 美紗子

オガサワラヒメミズナギドリ

今年2月、世界自然遺産に登録されている小笠原諸島で、絶滅の可能性も疑われていたオガサワラヒメミズナギドリが生きて残っていることを森林総合研究所の川上研究員らが明らかにしました。

研究者も容易に近づけない荒れた冬の海に浮かぶ無人島、そこで細々と生き残ってきた彼ら、どんなに逞しい姿かと思いきや、実際は丸く可愛らしい頭に、フリフリとした大きな瞳、黒く艶やかな羽と大和撫子を想像させる姿です。

この可憐な姿が後世に残るよう、小笠原諸島の環境が守られることを祈らずにはいません。



平成25年 林業産出額及び生産林業所得

林業産出額は、すぎ、ひのき、まいたけ等が増加し、4,322億円、前年に比べ10.4%増加

【統計結果の概要】

1 林業産出額

平成25年の林業産出額は4,322億円で、前年に比べ10.4%増加しました。

これは、木材生産部門の産出額が針葉樹の生産量の増加、価格の上昇により増加したこと及び栽培きのこ類生産部門の産出額が価格の上昇により増加したこと等によるものです。

2 生産林業所得

生産林業所得は2,327億円で、前年に比べ11.4%増加しました。

3 労働林業所得(試算)

生産林業所得から雇用賃金相当額、支払利子相当額を控除した労働林業所得(家族)は10百億円で、そのうち経営主に帰属する部分である労働林業所得(経営主)は8百億円と試算されています。

表 林業産出額(全国)

区分	平成24年	平成25年		対前年増減率
		実数	構成比	
	千万円	千万円	%	%
林業産出額	39,169	43,224	100.0	10.4
木材生産	19,333	22,210	51.4	14.9
薪炭生産	439	553	1.3	26.0
栽培きのこ類生産	19,315	20,350	47.1	5.4
林野副産物採取	83	110	0.3	32.5

注：構成比の合計が100%にならないのは、四捨五入による。

- 注：1 薪炭生産とは、伐木から薪及び木炭を生産することをいう。
- 2 林野副産物採取とは、山林から天然のまつたけや生うるし等の林産物を採取することをいう。

この統計調査結果の統計表は、政府統計の窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」でご覧いただけます。

【<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>】